

尾道地区保護司会 会報



第75回“社会を明るくする運動”《尾道市長賞》

人と人 優しさ重ねて 生きてゆく

尾道市立日比崎中学校 安倍 知希





新年のご挨拶

尾道地区保護司会

会長 木村 修二



新年明けましておめでとうございます。更生保護関係者の皆様方におかれましては、令和8年の新春をご家族おそろいで、穏やかに迎えになられたことと心からお慶び申し上げますと共に、ご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。

昨年の保護司活動を振り返りますと、各部会長を中心に活動計画を進めていただき、スムーズに運営頂いたこと感謝いたします。特にホームページ委員会におかれましては、委員の方々が、3ヶ月交代で更新記事を作っていただき感謝しています。

会員の皆様には、是非このホームページをご覧ください保護司活動を進めていただくようお願いいたします。特に、会員向けの連絡事項等掲載することとしていますのでご活用ください。

昨年の方針で示した定例研修会を通して処遇能力の向上・専門知識の習得を図りましたが、出席率等において課題がありました。これまでの平均は59.8%でしたが、70%台にしていきたいものです。また、尾道市の第2次再犯防止推進計画について、保護司会として尾道市に意見を投げかけ1年近く検討していただきました。満足いく結果ではありませんが、更生保護施策である再犯防止のための促進をすすめました。

また、新たに保護司の適任者を3名発掘し、定数78名に対して74名まで引きあげました。

本年も昨年同様な活動ができますようまた、知恵を出していただき新しい活動を期待しています。また、法務省が進めている持続可能な保護司活動の改革が進んでいます。この施策に沿って尾道地区保護司会が充実した組織になることを期待します。

結びになりましたが、今後とも皆様方と更生保護の進むべき方向性を共有し、諸課題に取り組んでまいりたいと存じます。

会員皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

CONTENTS

● 新年のご挨拶	2	● 保護司の“わ”	9
● 広島県更生保護功労者顕彰式	3	● 尾道地区更生保護団体コーナー	10~11
● 社明運動 作文・標語コンテスト	4	● おのみち矯正展について	12~13
● 現地研修及び松山地区保護司会との交流 ..	5	● 保護司さんの横顔	14
● 自主研修会 尾道刑務支所を視察	6	● 芸術アート展	15~16
● 刑事裁判を傍聴して	7	● 文芸の窓	17~18
● 新任保護司紹介	7	● 事務局だより・あとがき	19
● 保護司の記録	8	● 活動の一コマ(2025年8~12月)	20

令和7年度広島県更生保護功労者顕彰式に出席して

第4分会 村上 恭子

去る令和7年11月19日、広島ガーデンパレスにおいて執り行われました「広島県更生保護功労者顕彰式」に出席いたしました。

式典では多くの皆様が荣誉ある表彰を受けられる中、私は身に余ることに、全国保護司連盟理事長表彰の受彰者26名を代表して、表彰状を拝受する役を務めさせていただきました。このような名誉ある機会を賜りましたこと、あらためて御礼申し上げます。

思えば平成19年、当時の法務大臣であられた鳩山郁夫様より保護司を委嘱されて以来、早18年になります。未熟な私ではございましたが、この間、数多くの同僚保護司の皆様にご指導、ご助言、そして温かいご支援をいただきながら、何とか務めを続けてまいりました。皆様に心より感謝申し上げます。

また、これまで担当させていただいた対象者の方々からは、私の知らなかった世界や価値観を教えていただき、人生の大きな学びを得ることができました。その経験こそ、私にとって何よりの財産であり、深く感謝しております。

担当した対象者の多くは、生きづらい社会の中で孤独を抱え、誰にも相談できず、追い詰められた末に罪を犯してしまった人々でした。更生保護の活動とは、苦しいとき、困ったときに、気軽に相談できる相手がそばにいる社会を築くことに他ならないのではないかと、改めて感じております。

今回の表彰は、そうした社会を実現するため、微力ながらも今後もさらに努力するよう背中を押していただいたものと受け止めております。

これからも初心を忘れず、保護司として更生保護の充実に努めてまいります。引き続きのご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げ、受彰のご報告と感謝の言葉に代えさせていただきます。



第75回“社会を明るくする運動” 作文・標語コンテストについて

学校連携委員会委員長 内海 一彦

“社会を明るくする運動”は、法務省が主唱し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人達の更生について理解を深め、犯罪や非行のない「明るい社会」を築こうとする全国的な運動です。

“社会を明るくする運動”作文・標語コンテストは、次世代を担う小・中学生に、日常の家庭生活・学校生活の中で体験したことを基に、作文や標語を作っていただくことで、この運動に理解を深めてもらうことを目的にしています。

今回のコンテストには、尾道市内の小学校から612点、中学校から237点の作文と、882点の標語というたくさんの応募がありました。

これらの作品について、尾道地区保護司会・尾道地区更生保護女性会の選考委員で審査した結果、作文（小学生8点・中学生8点）、標語（中学生8点）を入選作品として選考し「入選作文・標語集」としてまとめました。

それぞれの部門の優秀作品を、尾道市長賞・尾道市教育委員会賞・尾道地区保護司会会長賞・尾道地区更生保護女性会会長賞として表彰し、そのほかの入選作品は優秀賞として表彰いたしました。

応募作品には、自らが体験したことや、そのことを通して感じたこと考えたことが、しっかりと書かれたものが多くありました。



作文入賞者

(小学校)

1	尾道市長賞	瀬戸田小	6年	渡邊 和花
2	尾道市教育委員会賞	御調西小	5年	元廣 結愛
3	尾道地区保護司会会長賞	御調中央小	6年	丹賀 大翔
4	尾道地区更生保護女性会会長賞	日比崎小	6年	四宮 葵
5	入選	山波小	6年	小川 陽咲
6	入選	日比崎小	6年	美野 綾人
7	入選	高須小	5年	宮地 梨里亜
8	入選	瀬戸田小	6年	香川 渚

(中学校)

1	尾道市長賞	御調中	3年	土佐 晃太郎
2	尾道市教育委員会賞	向島中	3年	金森 奈々
3	尾道地区保護司会会長賞	浦崎中	2年	桑田 紗羽
4	尾道地区更生保護女性会会長賞	向島中	2年	加藤 はな
5	入選	吉和中	1年	角森 心夢
6	入選	瀬戸田中	3年	平野 夏希
7	入選	美木中	2年	有木 菜那子
8	入選	因北中	2年	田頭 陽向

標語入賞者

1	尾道市長賞	日比崎中	1年	安倍 知希
2	尾道市教育委員会賞	栗原中	1年	松尾 杏
3	尾道地区保護司会会長賞	吉和中	3年	竹谷 海音
4	尾道地区更生保護女性会会長賞	因島南中	2年	井上 凜音
5	入選	日比崎中	3年	國方 結花
6	入選	因北中	1年	岡本 朔太郎
7	入選	因島南中	3年	岡野 新大
8	入選	浦崎中	3年	岡本 航



12/14 作文・標語コンテスト発表会並びに表彰式

尚、これら入選作品は、「入選作文・標語集」としてまとめました。一人でも多くの人に読んで頂き、犯罪や非行のない明るい社会づくりに役立てていただきたいと思います。

令和7年度 現地研修及び松山地区保護司会との交流について

研修部会 北島 好勝

10月15日(水)・16日(木)の一泊二日の日程で、松山刑務所の視察及び松山地区保護司会との交流会を行いました。参加者は保護司18名、更生保護女性会3名、協力雇用主会1名の22名でした。

研修場所の松山刑務所は、愛媛県東温市にあり総面積105,665㎡（東京ドーム2個分）と広大な広さがあり、収容定員954名（既決844名、未決110名）で、主に四国地方で確定した受刑者のうち、刑期が10年未満の犯罪傾向の進んでいない20歳以上の受刑者を収容し、更生の意欲の喚起及び社会生活に適応する能力の育成を図り、犯罪を繰り返すことの無い様に規律正しい生活習慣を身につけさせ、勤労の意欲を喚起し、自立した社会生活を送るために必要な知識と技術を習得させるなどの矯正処遇を実施しています。又、未決の人も入所しています。これらを実施する為に、今治刑務支所、大洲刑務支所、西条刑務支所（四国唯一の女性専用）の3支所と、尾道刑務支所と同様に構外作業所として大井造船作業場があります。



松山保護司会交流会

次に、東温市中央公民館において松山地区保護司会との交流会を実施しました。松山地区保護司会の門間隆幸会長から歓迎の挨拶を頂き、遠藤事務局長の概要説明では、松山市（49.8万人）、東温市（3.2万人）の2つの市にまたがる地区保護司会（尾道市の4.4倍）の保護区人口で、保護司定数233名で200名の保護司にて活動しており、女性保護司の方が59名と多いと感じました。

組織として14分区（小学校区）、5部会（総務部会、犯罪予防活動部会、広報編集部、研究・研修部会、協力組織部会）があり、委員会はないそうです。意見交流では「社会を明るくする運動」についてチラシ配布のみでなく、昨年より愛媛大学にて関係団体とフォーラムを開催している。又、自主研修では、発達障害の対象者の対応研修を実施しています。

次に、サポートセンター運営（年会費、助成、施設管理費）については、松山地区が恵まれているように思いました。共通事項として、新任保護司の確保が難しいことがありました。その後、宿泊先のホテルで親睦を深めました。

次の日は、坊ちゃん劇場にてミュージカル「新 鶴姫伝説」を鑑賞しました。戦国時代の大三島の三島水軍を舞台とした内容で、素晴らしい作品でした。帰路のバスでの感想では、大変有意義だったとの意見が多くありました。皆さん、ありがとうございました。



尾道刑務支所を視察（9月17日 第1回自主研修会）

研修部会 下兼操 勉

最初に会議室で刑務支所長から施設の概要説明がありました。明治10年に尾道に設置され、大正14年に現在地に。またこの施設の特徴のひとつである構外泊込作業場が昭和43年に開設されています。収容定員約300名。犯罪傾向の進んでいない刑期10年未満の受刑者などが収容対象。高齢受刑者も多く福祉的な支援や配慮がなされています。

施設内の見学では、二重扉の入口の通路で人数確認後、収容区域に入り大食堂へ移動。収容者の食事は集まって食べるという方式です。入浴施設を見た後、作業場へ移動し受刑者が実際に作業している側を通り、説明を受けました。また、外部講師による健康体操等も行われます。居室には社会の動き等を知れるようテレビが設置されています。

最後に刑務作業製品の展示販売コーナーで買い物もできました。

市内の施設でありながら、「行ったことがない。行く機会がない。」という声もあり企画しましたが、駐車場の関係で、施設へは自家用車に乗り合わせての移動となったことや視察受け入れ人数の制限等もあり、32名の参加となりました。



刑事裁判を傍聴して

第3分会 金岡 親量

尾道地区保護司会第3分会の自主研修会として、10月7日に広島地方裁判所尾道支部で、刑事裁判の傍聴をさせていただきました。

午後2時より裁判の流れについて説明を受け、法廷の傍聴席（20席程度）に着き、検察官、弁護人、裁判官の順序で入廷され、最後に縄に繋がれた被告人（70代男性）が入り、裁判が始まりました。

人定質問（本人確認）の後、起訴状朗読（窃盗・道交法違反）・黙秘権の告知と手順通り進み、お互いの提出証拠確認の後、検察官の論告求刑（罰金刑）、弁護人の弁論のなかで、被告の悲しい現実が見えてきました。

30代で生まれ故郷を離れ、一緒に出てきた女性と数年で別れて一人暮らしをしていたが、高齢になっての病の手術によって体力が衰え仕事を続ける自信を失い、社宅を出てビジネスホテルに宿泊していたが所持金が少なくなったため、三原駅付近にてホームレス生活するなかで起こした犯罪でした。被告は、セーフティーネットの存在は知っていたけれども、それに頼ることは思いつかなかったとの供述でした。援助の手が届いていればと残念に思います。検察官の方が、厳格な法執行を求めながらも、機構の中のセーフティーネットの存在を何度か言及していたのが印象に残りました。

保護司活動も、過ちに陥った人の円滑な社会復帰をサポートする大切なセーフティーネットです。必要な人に届く充実したものでなければならないと感じました。

被告人の最終陳述をもって閉廷となりましたが、裁判官のかたが残って下さり、質疑応答の時間をもって下さいました。保護司活動へのご理解の賜と感謝いたします。

下兼緑保護司に企画・交渉のご苦勞をいただき、有意義な研修がきました。有難う御座いました。



新任保護司の紹介



第1分会 池原 淨信

趣味：音楽鑑賞

好きな言葉：日々精進

健康法：瞑想 呼吸法

保護司感：先代、先々代住職の思いを繋ぎ、地域社会へ貢献できるよう微力ではございますが尽力してまいります。今後ともご指導賜りますよう、お願い申し上げます。



第1分会 秦 弥紀

趣味：テレビ・映画・スポーツ鑑賞

好きな言葉：おのれに徹して人のために生きよう

健康法：よく食べ、よく寝る

保護司感：未熟者で保護司の右も左もわかりませんが、先輩方を見習って努力したいと思います。ご指導宜しくお願い致します。



第4分会 圓光 克文

趣味：野球・ソフトボール・将棋

好きな言葉：全軍活躍

健康法：ウォーキング

保護司感：活動を通じて社会に貢献できればと思います。

保護司の 記録



第1分会 村上 富行

私が保護司の委嘱を受けたのは平成24(2012)年6月1日ですから今年で14年目になります。その間に生活環境調整事件1件、保護観察事件を7件、担当したように思います。保護司になりたての頃から1人で担当したのが4件で、後半頃は保護司2人で担当したのが3件ありました。対象者は全員男性です。

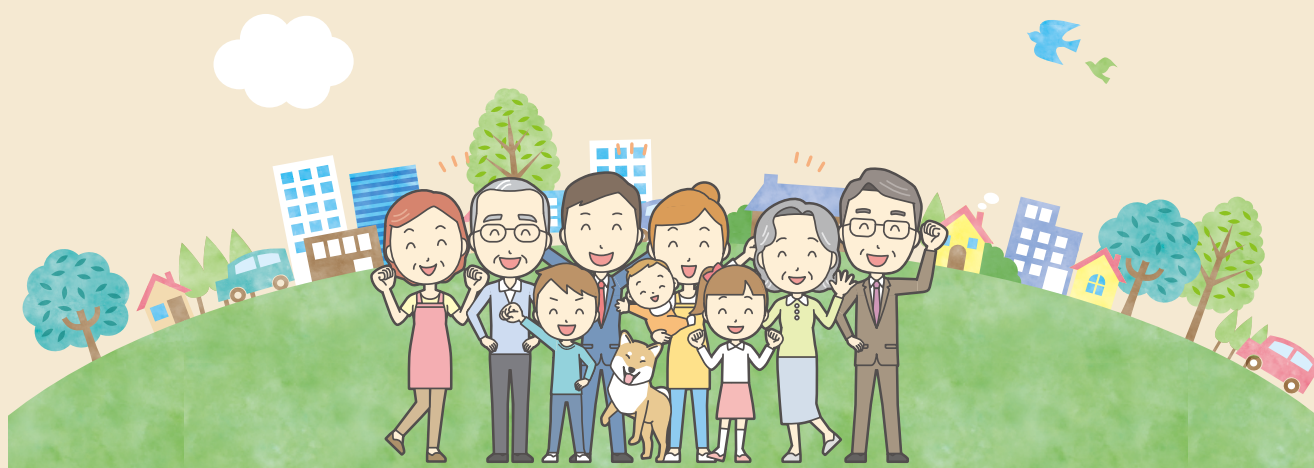
何年か前に市内の中学3年生のA君を対象者として担当しました。家族は本人と父親と祖母です。窃盗(万引)事件でした。1ヶ月に2回の面談日は、日曜日の午前中に祖母の運転する車での送り迎えでした。万引の原因を知る為に“どんな品物を? どうして?”盗んだのかを聞きました。品物をはマンガ本でした。よく聞いてみると、自分自身が欲しかったのではなく、欲しそうにしていた友だちに仲良くしてもらう為に万引したそうです。お店にとってはマンガ本の売上金が入ってこないのに仕入れ代金を支払わないといけなし、それが続くとお店は経営が出来なくなる。「A君、わかる?」とマンガ本の売値、仕入れ値、

お店の利益、その儲けの中から電気代等の経費を支払う。と説明したら納得してくれました。これからはよく考えて行動するという事をA君と約束しました。A君に将来のことを聞くと、高校へ行って卒業したら父親と同じ造船所で働きたいと言っていました。我が家からの面談の帰り際、“A君! お父さん、お婆ちゃんに心配をかけないように”と毎回言い続けてきました。そして遵守事項を守り良好解除になりました。

保護観察対象者B君は、母親の1人親家庭で育ちました。高校中退後、時々アルバイトをしながらの生活でした。3人は元同級生との共犯でバイクを窃盗、公園内の公衆トイレの放火で各々保護観察となりました。当時3人の保護司が1人ずつ持っていたのですが結局、他の2人は誰が持っていたのかわかりませんでした。B君はバイクへ乗るのが上手で記憶力が良かったので、本人の了解を得て私の元の職場へ非常勤職員として就職させました。仕事は正確で早いという事で職場の先輩たちよりも早く正社員になりました。その後は仕事がきつかったのか転職したようです。

3件の保護観察の対象者は2人で担当しましたが、視点が違ったりするので大変勉強になりました。

今は対象者を担当していないので、尾道市のひきこもりのサポーターもしています。少しずつしか進みませんが、その人たちとふれあいながら相談相手となり見守ってゆけたらと思います。



今回は、第2分会の村上美鈴さんに、
次の4項目についてお尋ねしました。

- ① あなたはどんな人ですか？
- ② ご家族は？
- ③ あなたの信条・生活訓は？
- ④ 保護司として、ご苦労なことは？

第2分会 村上 美鈴

①あなたはどんな人ですか？

1951年（昭和26年）6月8日生まれ 74歳です。向島生まれの向島育ち。現在に至る迄ずっと向島。一人子でしたが、親戚が多く、寂しいと思ったことはありませんでした。至って健康に育ち、はしかにかかったぐらいでした。

尾道北高等学校を卒業し、英語が好きだったので、大学は英文科に進み、学生時代4年間を広島市で過ごしました。両親には感謝しています。先輩からの誘いで山岳部に入り、県内はじめ中四国、九州の山々～最後はアルプスを縦走し、槍ヶ岳の頭に登頂。全てテント泊。知識も何もなく、先輩に連れてってもらっていました。山は私の五感を研ぎ澄ませてくれました。

大学を卒業して向島に戻り、翌年には結婚しました。夫は船員で、一級海技士免状取得の為の教室に受講者が全国から集い、その時下宿していたのが御袖天満宮下の叔母の家だったという次第で、群馬県からはるばる尾道に来ていて、このご縁にめぐり逢い結婚。2か月後、直ぐに乗船してしまい、一年の内10か月は留守になるという生活スタイルが始まりました。内地入港の時には全国各地の寄港地に訪船していました。

子どもは娘が2人。次女は知的障がい（ダウン症）があり、発育はゆっくりでした。就学前は沼隈の通園施設に通い、療育に励んで一生懸命でした。町内の障がいをもつ家族から成る向島町手をつなぐ親の会の活動を共にし、行政や地域の理解と協力を得て、念願の通所の作業所設立に至ります。前会長から引き継いで、親の会の会長を13年しました。福祉の充実を求めて、市町村合併を挟んだ1期4年、向島町議会議員を務めました。次女は今47歳になり、作業所に通所しており、グループホームを利用し、週末には帰宅という生活をしています。

保護司歴は17年です。

②ご家族は？

長女家族（娘、娘の夫、子供4人）との同居で、4世代 11人の賑やかな大家族でした。両親が亡くなり9人となり、さらに昨年8月からは長女の夫の仕事の都合でフランス勤務となり、長女一家6人がパリに住まいを移し、今は、ほぼもぬけの殻で次女との3人暮らしに。でもスマホ越しにパリ暮らしを楽しませてもらっています。

③あなたの信条・生活訓は？

95歳で逝った母から教わったこと、「食を疎かにしないこと」。畑の恵みを手間を惜しまず、心を込めて作ってくれた思い出の味は質素、粗末ではあっても絶品でした。「南無阿彌陀仏。ありがとうございます。ごじひ様でございます」と手を合わす姿には尊い教えがありました。感謝する心を忘れず、日々の生活一つ一つを大切に過ごしていきたいと思っています。

④保護司として、ご苦労なことは？

13年の刑で服役中の生活環境調整事件を担当し、本人の自宅で生活する引受人である妻との往訪を重ねていたところ当時の観察官から一度面接に行ってみてはと助言があり、県外の刑務所まで面接に行きました。面接室に呼ばれた彼は険しい顔つきでしたが、話していくうち一瞬ホッと表情がほぐれた瞬間がありましたが、面接時間の終了が告げられるとまた険しい態度に戻り、退室して行った姿が忘れられません。帰ると手紙が届きました。その時の体験がその後の引受人との往訪や、その後出所となって戻ってきた時の本人との往訪にも、何か行き交うものが生まれ、心を通わせてくれたようにも思い当たります。もしそのような機会が今後あった時には臆せず面接に行ってみられると良いかと思います。（無いのが一番ですが）



取材後記

秋晴れの午後訪問させて頂いたところ、ご主人様にわざわざ駐車場までお迎え頂きました。明治から5代続く旧家らしいどっしりとしたお宅でお話をお伺いさせていただきました。古い写真や新聞記事もご用意いただき、またご家族のお話ではご主人が世界中を航海されたお話や、ご家族での海外旅行の思い出もお聞かせいただき、たいへん活動的なご一家であることを実感いたしました。

（西原宏明・砂田智彦）

尾道地区更生保護団体コーナー

更生保護女性会だより

尾道地区更生保護女性会

会長 杉原 静子

令和7年4月、今年度の総会を無事に終え、新たなスタートをいたしました。暑い暑いと言っている間に早いもので、今年も後僅かとなりました。

9月には、社会を明るくする作文・標語選考会に臨み、子どもたちの日々の生活の中から自分に出来ること、どんなことをすべきかとの思いを素直に語ってくれた作文・標語に、改めて今私達の行動が、子どもたちの未来に安全で住みよい社会の実現にかかっていることの重要性を思うことでした。

更生保護女性会の大きな行事である、第46回おのみち矯正展が、11月1日尾道駅前芝生広場にて開催されました。前日・当日と早朝よりの準備に多くの保護司会、雇用主会、そして会員の皆様のご支援・ご協力のお陰で無事に終えることが出来ましたことに、改めてお礼申し上げます。前日の準備では雨が降り、昨年度台風により中止となった事に一瞬不安がよぎりました。当日も早朝は小雨でしたが天気も持ち直し会員一同ほっとして、笑顔で接客出来ました。お陰様で多くの収益を上げることが出来ました。有効に使わせて頂きます。

11月14日、令和2年に新しくなったウィズ広島へ研修旅行に参りました。1日も早く自立でき、社会復帰出来ますよう、今後の支援についても学んで帰る事が出来ました。

今後ともご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。



雇用主会だより

尾道地区協力雇用主会

会長 宇根本 茂

協力雇用主会の活動は、犯罪や非行の前歴がある人たち、特に刑務所出所者などの社会復帰を支援することを目的としています。彼らが再び地域で責任ある生活を送れるよう、雇用の機会を提供し、職場での定着を支えるのが協力雇用主の役割です。

本年度も、雇用主会の原点であるところの、犯罪や非行歴のために仕事に就くことが難しい人たちの実情を理解し、雇用することで立ち直りを支援する事業主の会を目指していく中で、広島県の13地区の

協力雇用主会がありますが、尾道・三原地区雇用主会は、合同の役員会並びに研修会への参加や親睦・情報交換を含め、地区を超えての雇用連携を行っています。

今後も、下記の雇用主としての支援の在り方を学びながら、保護司会様や更生保護女性会様との活動を通し、協力雇用主としての自覚を持ち活動して参ります。



- ・再犯防止と社会復帰支援

無職のまま出所した人の再犯率は非常に高く、就労支援が直結する再犯防止支援。

- ・雇用による立ち直りの支援

単なる雇用ではなく、生活指導や OJT（実際の職場で業務をこなしながら行う教育方法のこと）なども含めた包括的なサポート支援。

- ・地域との連携

保護観察所や就労支援機構、地方自治体、商工会議所などと連携し、地域ぐるみで築く支援体制

OB会だより

尾道地区保護司OB会

会 長 小川 曉徳

更生保護に携わっておられる皆様、新年明けましておめでとうございます。今年は、十二支の7番目の午年ですが、「前進」「行動力」「躍動感」のある年とされており、力強く前進する午年にあやかり、会員の親睦を深めながら本OB会の使命と役割を一層前に進めてまいりたいと考えております。令和7年度の活動の中で特に会員の知見を深めるため、犯罪予防に関する研修会に加え老後の在り方等の勉強会の開催に努めて参ります。

令和7年末までに下記の事を実施して参りましたが、とりわけ11月開催の研修会は、広島保護観察所組谷保護観察官に「持続可能な保護司制度」について、尾道地区保護司会の木村会長に「尾道地区保護司会の活動と課題」等についてご講演いただき、保護司制度の課題や更生保護制度の中で、保護司の重要性、又地区会の役割、課題等について再認識する有意義な研修でした。また、12月には、恒例の忘年会を兼ねた親睦会を開催し、会員の元気な姿を確認し合いながら楽しい会食の一時を過ごすことが出来ました。

○本OB会の活動

- 5. 2 6 本OB会役員会開催
- 6. 1 6 本OB会総会開催
- 11. 1 0 本OB会役員会開催
- 11. 2 6 本OB会研修会開催
- 12. 1 5 本OB会親睦会開催

○関係団体の活動への参加

- 4. 2 5 尾道地区更生保護女性会総会に出席
- 5. 8 尾道地区保護司会総会に出席
- 6. 2 尾道地区雇用主会総会に出席
- 6. 1 8 第33回4団体連絡協議会に出席
- 6. 2 7 広島県保護司OB会総会に出席
- 7. 1~2 第75回「社会を明るくする運動」街頭活動に参加
- 8. 1 尾道地区保護司会会報81号へ寄稿
- 11. 1 尾道刑務支所矯正展に参加
- 12. 2 1 広島県保護司会OB会各地区会代表者会議出席

保護司会の皆様におねがいですが、満齢退任を迎えられましたら是非OB会に入会いただき、共に連携を深めながら社会を明るくする活動に携わって参りましょう。



11/26 OB会研修会



12/15 OB会親睦会

第46回 おのみち矯正展

11月1日(土)

前日から降り続いた雨も開場直前にあがり、「第46回おのみち矯正展」が尾道駅前緑地広場で行われました。

尾道刑務支所より刑務作業で作られている下駄や木工家具をはじめ、他刑務所の作業製品はとて丁寧に作られているものばかりで、訪れた方は今更ながら驚かれていました。

尾道地区保護司会では、エコバッグ作りコーナーと、ぬりえコーナーを行いました。エコバッグは自分でデザインしたものを無料で持ち帰れることでとても人気があり、用意していた200枚はほとんど無くなりました。

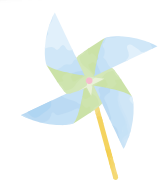
また、来場者の方々に、保護司のお仕事を紹介したボードを読んで頂き、メッセージを書いてもらいました。集まったメッセージは12月に東京で行われる「全国矯正展」で披露されるそうです。保護司の役目を少しは知っていただけたかなと思います。ありがとうございました。

保護司会のブースということで、当然のことながらスタッフは全員保護司です。大盛況に終えることができたのは、個々の力の結集の賜物です。とても団結を感じた一日でした。





会場には、ほごちゃん・さらちゃんの
ゆるキャラも来てくれました。
大きくてモフモフ！
子ども達に大人気でした。





平成16年に父親が亡くなり、葬儀の準備中に仏壇の引き出しから、お四国八十八ヶ所巡りをした時の朱印を捺した白衣が、父親のと母親のと2着出てきました。新しい方は綺麗だったので、父親に着せて送る事としました。でも古い方は朱印が滲んだ様になって見苦しかったので、母親の白衣は私と妻で遍路をして新しいのを段取りする事としました。

父親が亡くなって当分の間は母は気が張っていたのか元気そうでしたが、平成24年頃から時々体調を崩して寝込む様に成りましたので、慌てて遍路の準備に掛かりました。でも私自身遍路は初めてなので、我が家の菩提寺の住職に相談に行き、遍路をする為のアドバイスを受けました。そうしたら住職も協力的で「白衣・輪袈裟・金剛杖・納札・経本・頭陀袋（布とカバンの2個）」を2セットお寺で用意して頂けましたので「ローソク・線香・菅笠・杖カバー」は自分で揃えました。これで形は整いました。

後は、読経の練習です。本堂での読経の範囲、大師堂での読経の範囲を教えてくださいましたので、御経はスムーズにマスターできました。

最後に注意事項として、橋の上では杖をつかない様に言われました。これで万事OKと思い、夫婦で自家用車での遍路に出発しました。

でも最初は失敗の連続でした。お寺の納経所で女の人から「気を悪くありませんで下さい、菅笠の前と後ろが逆です」と言われたときは恥ずかしかったです。またあるお寺では、沢山のローソクに火がついていたので、貰い火をしてローソクに火を付けたら、隣に居られた住職らしきひとから「ローソクの火には供えられた人の思いが込められているのでそんな事はしない様に」と言われた時は「ドキッ」としました。又あるお寺にお参りした時は、参拝者が私たちだけで他におられなかったので、本堂の正面の賽銭箱の前で拝んでいたら、後から来られた10人位の団体さんが、私たちの前を通り抜け後ろの柱の陰に1列にならんで御経をあげられた時は、次からは出来るだけ正面は後から来た人に譲り、柱のそばで御経をあげようと反省しました。

失敗談を挙げればきりがありませんが、心が温くなる事も有りました。それは車で移動中見かけたのですが、道路の端にみかんやお菓子が置いてあり、「お遍路さん召し上がって下さい」と書かれた張り紙がありました。また、白衣を着て車の運転をしていて道幅が細くなった時、地元の人らしき車が早くから止まって道を譲って下さるので、運転していても気持ちがよくなりました。また、あるお寺の賽銭箱にユニークな文言を書いた貼り紙が印象的でした。それは『私方の仏様は賽銭の音がチャリンという音は好みません。バサッバサッというお札の音を好みます』と書いて有ったので、思わずふきだしました。

私はある時同級性に尋ねた事が有ります。「お四国霊場を巡拝する事を遍路と言うそうですが、貴方はなぜ遍路をされたのですか」と聞いたら、こう言う返事がかえってきました。「私の場合、会社勤めをしていた時いろんな人にお世話に成り、助けて貰いました。だから無事定年を迎えた時、お世話に成った1人1人を尋ねてお礼を言いたかったが、相手の家の事情もある事なので、その代わりに遍路をして感謝を表す事にした」と言われた時、何故かうなずける自分が居ました。

また、私にとっての1回目の遍路は、ドタバタ珍道中では有りましたが、平成27年6月に母親に綺麗な白衣を着せ送る事が出来、お寺の住職や家族（妻）に対しては感謝・感謝の遍路でした。



芸術・アート展

写真

● 撮影 高橋 昭彦



「無題」

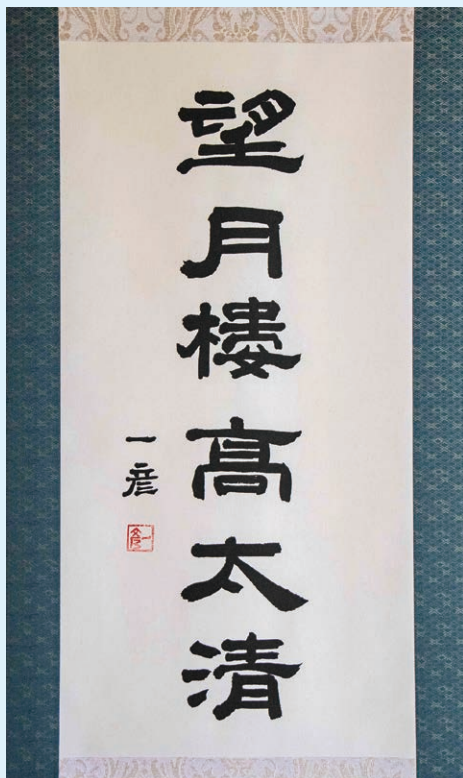
● 撮影 内海 一彦



「パリの気分」

書

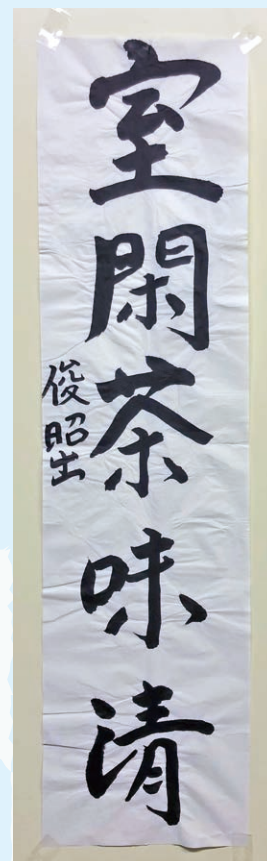
● 書 内海 一彦



「望月楼高太清」

意味…月見る楼は天に接して高く而も大いに清い
読み…ぼうげつろうはたかくはなはだきよし

● 書 OB 村上 俊昭



「室閑茶味清」

しつかん さみきよ
室閑に茶味清し
…部屋は静かにして茶の味が清く感ずる

絵画

●画 OB 田中 功



「御調町」

●画 OB 藤本 幸三



「ミンサザイ」

●画 OB 田中 功



「大山寺横庭」

●画 村上 旬子



「春の尾道水道」

陶芸

●作陶 OB 小川 曉徳



「花瓶」



「一輪挿し花瓶」



「花瓶」



「花瓶」



文芸の窓



詩

流れ星

OB 島田 恭次

願いが叶うという 流れ星
星は 今
はかない運命のもとに
もがいて 輝く

何千光年も 永い旅の果て
一つの星に 迷い込んだ
明かりの ある星
この星で 望を叶えようと
最後の力を振り絞り
大きく輝き
強く願うが
やがて 命を失う星

あの 流れ星は
どんなことを 期待して
先の見えない
永い旅をしてきたのか
出会いが 別れ
その星の 命に懸けた願い

願いは 願い として
良い生き様を 築くには
語り合い 競い合い
助け合い 励まし合い
妙案を出し合い 激を入れ合い

願いが 現実となるよう
意欲を高めて 生きたい



俳句

淑気

OB 吉原 茂子

日もすがら岩打つ怒涛寒椿
ふる里の四方の山並淑気満つ
初明りのちをいとほしむ暮らし
縫初めの糸も鈇も形見分け
先端のくれなゐを濃く木の芽出づ

初みくじ

OB 高卯 石男

運勢は小吉でよし初みくじ
大寒の一步大きく踏み出せり
春立つやせせらぎに音生まれ
喚声の聞えてきさう松の芯
ゴンドラの影のぼりゆく花の山

漢詩の香り

川中島

頼山陽

鞭聲肅肅夜過河
曉見千兵擁大牙
遺恨十年磨一劍
流星光底逸長蛇

鞭聲肅肅 夜河を過る
あかつき 曉に見る千兵の 大牙を擁するを
いこん 遺恨なり十年 一劍を磨き
りゅうせい 流星光底 長蛇を逸す

(訳)

(上杉謙信の軍は)鞭の音もたてない様に静かに、
夜に乗じて川を渡った。
明け方、武田信玄方は、上杉の数千の大軍が大將の旗
を立てて、突然面前に現れたのを見て、大いに驚いた。
しかし、誠に残念なことには、
この十数年来、一劍を磨きに磨いてきたのに、
打ち下ろす刃(やいば)がキラッと光る一瞬のうちに、
あの憎い信玄を打ちもらしてしまった。

(語句)

大牙 ……上杉軍の大將の旗印
流星光底……流星の飛ぶ如く劍を抜いて切り下げた時の光
長蛇 ……目指す大敵 ここでは信玄を指す

(手島 常俊)



〇●〇囲碁入門講座 第25回(尾道市の市技「囲碁」)●〇〇

(監修 木村修二)

今回の講座は囲碁イベントの紹介にさせていただきます。

今年(2026年)1月30日(金)・31日(土)Ryokan 尾道西山を舞台に囲碁の国内最高峰タイトル戦「棋聖戦第2局」が開催されます。尾道での棋聖戦は、平成27年(2015年)2月以来、11年ぶり。

今回の開催は、尾道市合併20周年記念事業の一環として実施されるものです。旧因島市から尾道市に引き継がれた「市の技(囲碁)」を象徴するイベントとして注目を集めています。この第50期棋聖戦は、一力遼棋聖に芝野虎丸十段が挑戦者として対局します。

棋聖戦

【棋聖戦概要】

主催：読売新聞社、日本棋院、関西棋院
特別協賛：サントリーホールディングス
優勝賞金：4,300万円(賞金序列1位)
創設年：1976年
挑戦手合七番勝負

【一力 遼(いちりき・りょう) 棋聖】



棋士段位：九段
出身地：宮城県
所属：日本棋院東京本院
タイトル数：31
タイトル/称号：棋聖・名人・天元・本因坊・阿含桐山杯・応氏杯

1997年6月10日生。宮城県出身。宋 光復九段門下。
2010年夏季入段(2011年度採用)。
2012年二段、2013年三段、2014年四段、同年七段、2017年八段、2020年九段。

事務局だより

1. 広島県更生保護功労者顕彰式

令和7年11月19日（水）13時より広島ガーデンパレスに於いて開催されました。

表彰名	表彰者氏名（敬称略）
全国保護司連盟理事長	板坂剛志 村上恭子
中国地方更生保護委員会委員長	佐原雅典 末通弘聡 高田英雄 野田佳裕 平山典子 尼子忠邦
中国地方保護司連盟会長	大出絹子 花房松雄 星野光男
広島保護観察所長	上田國光 西川幸男
広島保護観察所長（家族功労）	杉原 健(正子) 福岡理恵子(輝行)
広島県保護司連合会長	岡村 隆 岡本静男 藤原健司 松浦政浩 村上昌平

2. 新任保護司のお知らせ(令和7年12月1日委嘱)

分会	氏名	住所
第1分会	池原 浄信	尾道市長江
第1分会	秦 弥紀	尾道市高須町
第4分会	圓光 克文	尾道市因島田熊町

3. 研修会等の予定

第2回自主研修会

日時：令和8年1月16日（金）15:30～

場所：しまなみ交流館大会議室

講師：古賀正明 広島保護観察所長

テーマ：更生保護制度の充実を図るための保護司法等の一部を改正する法律

第3回定例研修会

日時：令和8年3月9日（月）14:00～

場所：市民センター むかいしま

テーマ：「事例研究」について

4. 令和7年度尾道地区更生保護功労者顕彰式

日時：令和8年1月16日（金）15:00～

場所：しまなみ交流館大会議室

5. 合同新年互礼会について

日時：令和8年1月16日（金）17:30～

場所：グリーンヒルホテル尾道

6. 予算編成会議

日時：令和8年1月27日（火）14:00～

場所：更生保護サポートセンター

7. 理事会

日時：令和8年2月9日（月）14:00～

場所：更生保護サポートセンター

8. 保護観察事件・生活環境調整事件係属件数（令和7年11月28日現在）

保護観察事件				生活環境調整事件
1号	2号	3号	4号	17件
10件	1件	1件	0件	

9. 広島県更生保護協会員の募集について

本年も協賛会員・普通会員の寄付者の募集取り組みを行っています。
何卒よろしくお願い致します。

表紙写真

撮影：保護司 高橋昭彦

浦崎町の沖に浮かぶ観音堂（浦崎のモンサンミッシェル）
乗り越えたい試練を叶えてくれると言われ、地元の人は“観音さん”と呼んでいる。潮が引くと歩いて渡れ、石段を登ってお参りすることも出来る。毎年旧暦の7月10日早朝に“沖の観祭礼”が行われている。

あとがき

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

おかげをもちましてここに「会報」82号をお届けすることができました。文書・写真等原稿を寄せてくださった方々並びに印刷製本を担ってくださったP'sコーポレーション様に心より感謝し御礼申し上げます。

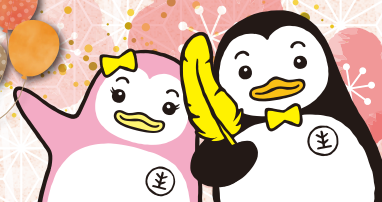
昨年は歌舞伎の世界を描いた映画「国宝」がメガヒット。歌舞伎界には人間国宝に認定された俳優がたくさんいます。それとは意味が異なりますが、私たち一人ひとり、子供から大人まで“国の宝”です。思いやりを注げば相手は嬉しく、それを見て自分は幸せな心持ちになります。みんな国の宝物です。お互いに思いやりで心を豊かにいたしましょう。

本年も何卒よろしくお願い致します。また、今年一年皆様が健やかに暮らせよう心よりお祈りいたします。

（手島 常俊）

活動のーコマ

2025年
8～12月



10/15 松山刑務所研修旅行



10/15 坊ちゃん劇場観賞



10/23 第4回理事会



10/28 薬物乱用防止教室



11/10 第2回定例研修会



11/18 第7回広報部会



12/5 第1分会研修会



12/8 第2分会研修会



12/10 第3分会研修会



12/12 第4分会研修会・懇親会



社会を
明るくする運動



9/29 高西中学校区



10/6 日比崎中学・吉和中学校区



10/7 向島中学・向東中学校区

